

消防だより

令和4年(2022年)
10月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 13件
救急 : 1175件
救助 : 17件

令和4年度全国統一防火標語 「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

暖房器具による火災にご注意

暖房器具による火災の多くは、使用者の「誤使用・不注意」が原因です。暖房器具を使用する場合は次の内容を守り、火災予防に努めましょう。

- ・ストーブや電気こたつをつけっぱなしにせず、就寝時や外出時には確実に消す。
- ・ストーブやこたつで衣服を乾かさない。また、燃えやすいものを近くに置かない。
- ・電気コードなどの配線は、折れ曲がりに注意し、ほこりが溜まりやすいところは定期的に清掃する。

※冬季は空気が乾燥し、小さな火でも容易に大きな火災へとつながります。こうした出火事故を起こさないよう、使用方法の確認を行い、暖房器具の正しい使用を心掛けましょう。

窒息事故に注意しましょう

窒息は乳幼児や高齢者が起こすことが多く、緊急度・重症度の高い事故の一つです。

事故防止の心得

- ・口に入る大きさのおもちゃなどは子どもの手の届く場所に置かない。
- ・食べ物や飲み物は食べやすい大きさにし、水分を摂りながらよく噛んで飲み込む。
- ・食事の際は、なるべく誰かがそばにいて注意して見守る。
- ・万が一に備え、応急手当ての方法を覚えておく。

※喉に物が詰まったときは、すぐに119番通報するとともに応急手当てを行いましょう。

窒息時の対処法

傷病者に反応(意識)がある場合の対処法です。ぐったりして反応がなくなれば、直ちに心肺蘇生法を実施してください。

● 背部叩打法／肩

甲骨の間を手のひらの付け根で力強く連続して叩く。



● 腹部突き上げ法／傷病者の背中側

から抱えるように腕を回し、片手で握りこぶしを作り、親指側を傷病者のへそとみぞおちの間に当て、そのこぶしをもう一方の手で握り、素早く手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。



※妊婦や乳児には実施してはいけません。

※スマートフォン向けアプリ「ありだがわ防災・行政ナビ」にも、応急手当ての方法を詳しく掲載しています。

年末警戒、出初式のご案内

- 年末警戒／12月28日(水)～29日(木)
- 消防団出初式
日時／令和5年(2023年)1月8日(日)

・場所／明恵の里スポーツ公園
※雨天時はきびドームで実施。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎ 073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎ # 8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎ 073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)